

記憶の整理学

昔
取った
杵柄
(きねづか)

第119回
老年学公開講座

講演内容と講演者

「脳は図書館!」

東京都健康長寿医療センター研究所
老化制御研究チーム研究部長……………遠藤 昌吾

「衰える記憶と衰えない記憶」

東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と介護予防研究チーム研究員……………伊集院 睦雄

「にょい記憶」

東京都健康長寿医療センター研究所
自立促進と介護予防研究チーム研究員……………井藤 佳恵

司会 丸山 直記 東京都健康長寿医療センター研究所副所長

日時

平成 23年 12月14日(水)

午後1時15分から午後4時30分まで

会場

調布市グリーンホール
大ホール

東京都調布市小島町2-47-1

主催：東京都健康長寿医療センター研究所
共催：調布市（予定）

☎手話通訳あり

当日先着 1300人

申込不要・入場無料



地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター
東京都健康長寿医療センター 研究所
(東京都老人総合研究所)

広報普及係

03-3964-3241 (内線 3008)

ホームページ <http://www.tmig.or.jp/>



第119回 老年学公開講座

高齢社会の重要な課題の一つに認知症があります。認知症に見られるような記憶の障害は、様々な社会的影響をもたらします。しかし記憶に関する研究領域を眺めてみますと、いわゆる認知症の対象となる記憶現象だけではありません。記憶するということ、記憶を維持するということ、記憶を引き出すなどの側面があります。それ以外にも様々な種類の記憶があります。文字で表せる記憶もあれば、映像、運動、匂いなどの記憶もあります。以前に高齢のご婦人を認知症ということで病院に紹介しました。様々な事を思い出せない状態でした。しかし元々ピアノが上手な方だったそうですが、お孫さんがピアノを弾いたところ、この方も若い頃のようにバリバリと演奏されたそうです。このエピソードは、記憶が保存されている場所が記憶の種類により異なる事を示しています。つまり「昔取った杵柄（きねづか）」とはこの事なのでしょう。本講演会では記憶が保存される場としての脳は貴重な図書館であり、そのなかで失われにくい記憶と失われやすい記憶があることについて解説します。そして香りの記憶が文学の中で重要な働きを示すことをご紹介します。

東京都健康長寿医療センター研究所

副所長 **丸山 直記**



地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター
東京都健康長寿医療センター 研究所
(東京都老人総合研究所)

広報普及係

03-3964-3241 (内線 3008)

ホームページ <http://www.tmig.or.jp/>

記憶の整理学

昔
取った
杵柄
(きねづか)